



食と健康2024.10より引用

やはりこれからも要注意、ノロウイルス食中毒

日本では、2023年5月8日をもってそれまで全世界に猛威を振っていた新型コロナウイルス感染症(以下Covid-19と略)がワクチン接種や各予防対策等の実施効果によりインフルエンザウイルスやノロウイルス(以下NRVと略)感染症等と同じ5類定点把握感染症に分類され、今年の11月で一年半の時を経過しました。この間、実施された防Covid-19対策は、NRVを含むウイルスが原因による防食中毒対策にも有効で事件数、患者数とも大幅に減少したことが下記の表から分かります。しかし同年5月9日以降の食中毒発生状況を見ると再び以前の状況に戻りつつあるのが実態かと思われます。今年もNRVによる食中毒が増加するシーズンを迎えました。この度は最近、起きてしまった2例のNRV食中毒等から改めて予防対策を述べさせていただきます。

各年間で起きたノロウイルスとその細菌による食中毒発生状況

年次	NRV事件数	NRV患者数	細菌事件数	細菌患者数
2015	481件	14,876人	431件	6,029人
2016	354件	11,397人	480件	7,483人(死亡10)
2017	214件	8,496人	449件	6,621人(死亡2)
2018	256件	8,475人	467件	6,633人
2019	212件	6,889人(死亡1)	385件	4,739人
2020	99件	3,660人	273件	9,632人
2021	72件	4,733人	230件	5,638人(死亡1)
2022	63件	2,175人	258件	3,545人(死亡1)
2023	163件	5,502人	311件	4,501人(死亡1)
2024 (10/1迄)	180件	5,371人	105件	1,370人

どちらの原因物質の食中毒とも2019年まで件数、患者数とも減少傾向でしたが、2020年初頭からCovid-19の流行時に取られた予防接種、手洗いの実施、マスクの着用、手指や対物のアルコールと対物への次亜塩素酸Na消毒の実施等でどちらの原因物質による食中毒とも大幅な減少傾向を示しました。
しかし2023年5月8日以降、NRVによる食中毒は増加傾向に転じています。

Covid-19流行

—最近のNRVによる食中毒発生事例から—

- ①2024年2月2日、島根県益田市市内の飲食店
患者数396人、太巻き寿司からNRV-G IIを検出(患者6人と従事者11人からも検出)
- ②2024年7月30日、東京都武蔵野市内の飲食店
患者数42人、仕出し弁当からNRV-G IIを検出(患者18人と従事者6人及びトイレからも検出)

以上の2事例とも複数の従事者が不顕性感染者でいたことが共通しています。
最近では、この様に不顕性感染者が直接、食中毒発生源となってしまう事例が増加傾向にあります。
定期的に健康診断や検便検査を受ける等、何時でも自分の健康状態を把握しておきたいものです。

※現在、ウイルス(NRV、サポウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)による食中毒予防対策として(1)~(4)まで4つの対策が挙げられていますが中でも**最近、特に正しい手洗いが重要で注目されるようになりました。**

- (1) 持込まない ●手洗い(流水・石鹸) ●健康状態の把握 ●従事者専用トイレの使用
- (2) 拡げない ●手洗い ●定期的な消毒(熱湯消毒・次亜塩素酸Na) ●日常的な消毒
- (3) 加熱する ●中心温度85~90℃、90秒以上の加熱
- (4) 付けない ●手洗い ●使い捨て手袋・マスクの着用 ●衛生的な調理着の着用

石鹸やハンドソープを用いて行う物理的な手洗いは病原体の種類を問わず、何れの病原体をも洗い流し去る意味で最良の方法と言えます。

適宜、正しい手洗いの実行と自己の健康状態の把握で、これからのシーズンを乗り越えて行きましょう。



登録衛生検査所
株式会社 **中央微生物検査所**
環境サービス事業部

<http://www.chubi.co.jp/>
E-mail shoku@chubi.co.jp

本 社
〒536-0008 大阪市城東区関目5丁目22番23号
TEL.(06)6939-1044
FAX.06-6939-2350

東京営業所
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目3番10号コスモタワービル10階
TEL.(03)5472-7551
FAX.03-5472-7552

